

# 自然エネルギー信州ネット 2018年度定時通常総会 議事録

日時：2018年（平成30年）6月30日（土）  
14：30～16：00

場所：長野市生涯学習センター（トイゴ）第1、第2学習室

出席者（敬称略）：

## 【役員】

高木 直樹	理事・会長
平島 安人	理事・運営会議議長
合原 亮一	理事
茅野 恒秀	理事
（欠席）	
田村 恵子	理事
真関 隆	顧問
飯田 哲也	顧問
浅輪 剛博	事務局長
山田 かおり	事務局員

長野県 神田 大介  
長野県 高田 淳子

【会員】（正会員24名 準会員1名 委任状出席正会員33名）

小野 要 （新理事）  
小田切 奈々子 （前理事）

## 議事次第

1. 総会開会の辞
2. 会長あいさつ
3. 顧問あいさつ
4. 議長選出
5. 議事

第1号議案 2017年度 事業報告

資料 1-1 1-2

第2号議案 2017年度 収支決算報告および監査報告

資料 2-1 2-2 2-3

第3号議案 2018年度役員交代の件

役員名簿

第4号議案 2018年度 事業計画（案）

資料3

第5号議案 2018年度 収支予算計画（案）

資料4

その他、意見交換等

6. 議長退任

7. 閉会

## 議事録

### 2. 会長あいさつ

高木会長

梅雨が明けました。総会前のセミナーでは ISEP 飯田さんの話を聞きました。これまで何回も飯田さんの話を聞いたが、いつも励まされます。私たちのやりたい「信州に自然エネルギーを地域自立で普及させる」活動が正しかったと確信できました。今年も成果を生み出していきたいです。

### 3. 顧問あいさつ

飯田顧問

微力ながら貢献を行いたいと思っています。本日講演させていただいたソーラーシェアリングの事例も信州ネットの今後の活動につながるように献身していきたいです。

真関顧問

信州ネットの皆様の日頃のご尽力に感謝します。

長野県はこの4月から総合5か年計画と環境基本計画を新しくスタートし、環境エネルギー戦略の一部見直しも行いました。信州ネットに関わりのある取組の1つとして、県内の既存の建物の上に太陽光や太陽熱のポテンシャルがどのくらいあるかを「見える化」する仕組みを2年かけてつくる予定にしています。太陽光をめぐる業界の皆さんへの波及を期待しているので、ご協力をお願いします。

また、6月15日に長野県がSDGs 未来都市に選定されました。エネルギー自立分散型モデル地域の確立を大きな柱として打ち出しています。従来から再生可能エネルギー100%地域を目指しており、来年の6月中旬には軽井沢でG20の関係閣僚会合に伴う環境・エネルギー大臣会合が開催されることもあり、これまで本県が取組んできた先進的な取組を世界にもPRしていければと考えています。

### 4. 議長選出

浅輪事務局長 議題に入るところで定足数の確認をします。議決権を有する正会員総数88名のうち委任状含め57名の出席ですので議決権を有する正会員過半数の出席を見たので規約第8条により総会の成立を報告します。議長は高木会長を推薦します。

高木会長：議長を務めます。

## 5. 議事

### 第1号議案 2017年度 事業報告

資料 1-1 1-2

高木議長：まず、第1号議案を平島理事よりご説明ください。

平島理事：(資料に基づいて説明) その他、ご出席の専門部会や地域協議会より補足がありましたらお願いします。

田中守バイオマス部会長：今まで活動して来たが、高齢になり来年度までにはバイオマス部会長を引退したい。部会にて新体制を決めていきたい。  
県の補助金でつくった冊子が2,000部ほどあるので、ご希望があれば事務局までご連絡ください。お届けします。薪ストーブの時期ということで10月くらいまでに配りたい。

平島(松本地域協議会)：配布した冊子「ACTION」に1年間の活動をまとめているので読んでください。

太陽光部会より：部会長がご都合で欠席のため、浅輪より代理で追加資料を説明します。きのこ農家にソーラー設置の取組みがあり、説明会などを開催しています。農林業と自然エネルギーの協働のケースは望ましい姿だと感じます。

茅野理事：担当しているプロジェクト「信州自然エネルギー白書」事業の経過報告です。諸般の事情で作業が遅れていて、昨年度できているはずのものです。草稿の一部をコピー配布しています。白書で独自にまとめている統計がいくつかあり、ひとつは2016年度時点での長野県内の自然エネルギーによる発電状況です。発電種別は太陽光がほとんどです。長野県の現状評価としては、小規模の太陽光発電所が比較的多いとしています。導入量は47都道府県中15番目です。太陽光発電の統計区分は6つに分かれていますが、現在のところでは、長野県は小規模なものほど上位、大規模のものほど下位の傾向があります。しかし、これは「導入済」のもので見ていて、「認定済(で未導入)」を加えると一気に大規模なものが増える可能性があります。大規模化していく傾向に注意するのは信州ネットとして大事ではと考えます。10kW未満の太陽光発電に限った場合、1人当たりの導入量は47都道府県中3位と、誇るほど多いです。

次に77市町村ごとの状況ですが、自治体で差があるのは表7のとおりです。

最後に、2017年秋になって、FIT法で設備認定している全てのデータ住所を政府が公開しつつあります。現在、長野県で公開されている9,000ある事業に属性を付ける作業を行っています。9,000のうち5,000が法人です。株式会社がほとんどですが、会社の所在情報など、検索して調べています。ドイツでは自然エネルギー設備の所有者が誰か、グラフが公表されていて、個人や農家の割合が多いです。長野県ではどうなるか、統計をもとに把握できるようにするのが狙いです。

高木議長：2017年度の会計報告も行い、合わせて議決を取ります。

### 第2号議案 2017年度 収支決算報告および監査報告 資料 2-1 2-2 2-3

浅輪事務局長：(資料に沿って説明) 収入では、会費収入が減っています。今年度の活動

を通じて新たな会費会員を増やしたいです。

支出では、人件費の予算がありましたが、一般社団法人自然エネルギー信州ネットで受託した資源エネルギー庁の事業があり、2017年度は任意団体のネットからは支出していません。ただ、事務局運営委託費として一般社団にはほぼ予算どおり毎月定額で委託しています。その代わりに印刷費など増えてしまった項目もあり、結果としては40,208円の黒字で次年度繰越に回しています。

#### ■監査報告

宮入監事欠席のため浅輪事務局長代読

高木議長：第1号議案、第2号議案に対して決議をとります。

<拍手で承認>

### 第3号議案 2018年度役員交代の件

### 役員名簿

高木議長：第3号議案の役員交代の件を事務局長より説明をお願いします。

#### ■役員交代の件

浅輪事務局長より：小田切理事と加藤理事がそれぞれ事業、体調の都合で退任。

新任理事として佐久地域協議会 鈴与マタイ 小野要さん

新任監事として 宮入監事に加え税理士公認会計士の金子和寛さん

顧問 長野県環境エネルギー課長にお願いしていますが、新課長の 真関隆さん

高木議長：第3号議案に関して決議をとります。

<拍手で承認>

小野新理事、小田切前理事よりご挨拶

高木議長：第4号議案の活動計画の件を平島理事より説明をお願いします。

### 第4号議案 2018年度 事業計画（案）

### 資料3

平島理事：（資料3に基づき説明）。各専門部会は今年度より活性化するためにも、各施策を具体的にあげています。追加のプロジェクトとして、ソーラーシェアリング支援事業、エコ建築などの省エネプロジェクト、市民共同発電全国フォーラム、パタゴニアとの連携協力プロジェクトがあります。田村理事は本総会欠席ですが、パタゴニアの会議のために、清里に出張しています。また、SUWACO Labo の事業成果報告もまたマルシェ形式で行えればと思っています。その他、詳細を担当理事により追加説明をお願いします。

ソーラーシェアリングについて

合原理事：私も農業をしているが、実感として、このままだと農家の担い手がいなくなり、農業が衰退します。営農型太陽光発電の進展で少しでも収入の足しになればと計画しています。

資金調達の課題では、リース手法がチャンスだと考えています。一つは、城南信用金庫が

そのモデルを作っていますが、東京の金融機関なので、地域自立という視点からいうと、長野県の豊富な太陽光という価値を東京に流してしまうとも見ることができ、良い協調関係がないかと模索しているところです。信州ネットとしては地銀や信用金庫と詰めていく必要があると思います。この部分がクリアできれば、ある程度、資金調達の目処が立ちます。

積極的な働きかけをしていきたいです。長野県は広いので各地域で皆さんに協力をいただきたいと思うが、具体的にどの様なスキームを描けるかを模索中です。

山本精一（ISEP）さんより：NPO 正会員の ISEP よりきました。千葉県いすみ市のブルーベリー畑でソーラーシェアリングをやっています。長野に利益が落ちるしくみをつくりたいですが、全国レベルでの展開と結びつけることでコストを共有してより良い形を構築したいと思います。つまり、長野 1 県ではなく、全国規模で安く作って長野県に利益を還元する考えと言えます。

実際の実務になると、農家のネットワークへの営業が最も大変だと思います。そこが進めば、あとは手続きを粛々と進めることができます。

会員の皆さんの積極的なかわりをお願いしたいです。

会員 1 より：

計画された事業についてはすばらしいと思います。

個人会員としては会費会員の減少が心配です。昨年も沖野監事が危惧されたが、今年度も残念ながら減少しているようです。どれくらいの会員が情報会員に移ったか、辞められたか。どのような理由で判明しているのでしょうか？ 会費を払わない情報会員が増えているのは、会費を払うだけの価値がなくなってきたのではないのでしょうか？

運営側は会費会員減少に危機感を感じていないのでは。新規会員増も大事だが、既存の会員に対して対応できていないのが心配です。計画の 5 に課題とあるならば具体的にどのように取組むのでしょうか。団体そのものにエネルギーがなくなっているのではと不安を感じています。

素晴らしい団体だと感じているので、さらに活性化して欲しいと思います。

浅輪事務局長：情報会員への意向の理由としては、属している企業、団体が正会員なので、個人としては情報会員に移行したいというケースがいくつかありました。会費が負担なのでという理由が多いです。やはりメリットが感じられないという場合が多いのではと思います。

合原理事：フェーズとして、今までは、勉強のために会員になりたいという方が多く、その人たちが減ったのではないのでしょうか。逆に、実際の事業に取り組んでいる人を増やしていくべき状況になったのではないのでしょうか。

普及啓発と事業推進の 2 本立ての方向で進めていきたいです。

会員の勧誘について皆さんに紹介をお願いするなど、充分やってこなかった点は反省点です。

高木議長：市民参加型の活動を 25 年やっているが熱心な方でも年齢とともにリタイアしていきます。新しい会員にいかに入ってもらうかが重要と考えます。ソーラーシェアリング事業や、信州ソーラーパトロール、新しい連携事業などを有効に活用したいです。

個人に対しても提供する情報はたくさん持っています。

太陽光発電のメンテナンスを通じて会員になっていただくなどしかけているが会員数の増加という意味では成果が出ていない。ご発言は心に刺さりました。

茅野理事：2015年に行われたパワーアップミーティングがきっかけで、私にも何か貢献できればと考え、理事になりました。もっと会員一人一人の意見を聞きたいし、同じ様に何に貢献できるか考え、一人一人の自主的な活動を望んでいます。やるべきことは出てきましたが会員増という形ではまだ結実していません。会員一人一人をエンパワーする企画を設けていきたいです。チカラを持っているのは一人一人の構成員、底上げをお願いしたい。

## 第5号議案 2018年度 収支予算計画（案）

## 資料4

浅輪事務局長：活動計画と予算案では昨年度のセミナーのアンケートなどで上がって来た関心のある内容などを取り上げているので、ご意見をいただくとありがたいです。

収入に関しては、セミナー講師の補助金などもあるので取りに行きたいです。

支出に関しては、昨年と同等ですが、一般社団で昨年度のエネルギー事業のようなものは取りに行っていないので、合わせた予算は少ないです。費用対効果が高くなるように注力したいと思います。

そのような中、専門部会費として交通費程度かもしれないが3万円ずつあります。活動計画にあるセミナーなどの実施のため、積極的に活用していただければと思います。

高木議長：信州ネットの組織を活用してやりたいことがあればぜひおっしゃって欲しいです。

では、第4号、第5号議案に関して決議をとります。

（全員賛同）

### ■決定事項

全議案はすべて承認された。

### ■その他

長野県環境エネルギー課 神田補佐：

県から何点か資料を配布しているので紹介します。

「自然エネルギー事業化支援情報データベース」・・・引き続きご活用ください。

「H29の環境エネルギー戦略の中間見直し」・・・新たに追加した主な施策の説明

- ・中小規模事業者の省エネルギー対策への支援
- ・環境エネルギー性能に配慮した建築物への改修促進
- ・地域主導の自然エネルギーへの支援として、建築物の屋根における太陽光のポテンシャルがわかるソーラーマッピングを作成し、関連業界へ普及促進を図る。
- ・信州ネットとも連携している環境エネルギー分野の産業化

「環境基本計画」・・・環エネ政策を「脱炭素社会の構築」欄にまとめました。

「SDGs未来都市のプレスリリース」・・・課長挨拶のとおり。ご覧ください。

「信州環境カレッジ募集のプレスリリース」・・・説明会もあるのでご活用ください。

長野県環境保全協会より 「信州エコナビ」のウェブサイトを構築しました。長野県内の環境に関するイベントが一目でみられるポータルサイトです。登録は無料です。本日の飯田顧問のご講演もトップに載っています。ぜひ、ご活用ください。企業が主体の活動もOKで、例えば、新しい環境によい商品やサービスの発表会、といったイベントも歓迎です。

会員 1 :

「信州環境カレッジ」は可能ならば信州ネットが申請者になって、各部会で一つのテーマを考えてもらうとか、カレッジ登録は年2回以上実施との条件があるので、信州ネットで取りまとめれば1回ならできる会員個人も実施できると思います。ワークショップなどでテーマを考えると、うまく活用できれば良いので検討いただければと思います。



【会長】高木 直樹



【理事】平島安人 【事務局長】浅輪



【顧問】飯田哲也さん 【顧問】真関隆さん



【理事】小野要



【理事】茅野恒秀、【理事】合原亮一